



## 2009 JSAFユースチャンピオンシップ テクノ293

兼、2009 アジアユース選手権(プレユースオリンピック)テクノ世界選手権日本代表選手選考会  
兼、2009 テクノ293カップ

### レース公示

期 日：2009年5月8日(金)～5月10日(日)  
開 催 地：山口県スポーツ交流村及び室積湾(山口県光市・日本)  
共同主催：日本ウインドサーフィン連盟  
(社)山口県セーリング連盟  
公 認：日本セーリング連盟(H21-7)  
後 援：BIC Sports Japan  
協 賛：未定

#### 1. 規則

- 1.1 2009-2012 セーリング競技規則(以下RRSとする)に定義された「規則」
- 1.2 各規則と帆走指示書とが矛盾する場合は、帆走指示書を優先する。

#### 2. 大会広告

主催者広告を予定しており、受付時までには主催者広告の要求があった場合、期間中提示しなければならない。

#### 3. 競技種目

- 3.1 TECHNO 293 Under 15 BOYS クラス (2009年12月31日現在14歳以下)
- 3.2 TECHNO 293 Under 15 GIRLS クラス (2009年12月31日現在14歳以下)
- 3.3 TECHNO 293 Under 17 BOYS クラス (2009年12月31日現在16歳以下)
- 3.4 TECHNO 293 Under 17 GIRLS クラス (2009年12月31日現在16歳以下)
- 3.5 TECHNO 293 Over Age クラス

#### 4. 参加資格

- 4.1 2009年度、(財)日本セーリング連盟メンバー登録者。
- 4.2 2009年度、日本テクノクラス協会登録者(日本ウインドサーフィン連盟会員)
- 4.3 (財)日本セーリング連盟、日本ウインドサーフィン連盟、都道府県セーリング(ヨット)連盟、いずれかの推薦を受けた者。
- 4.4 未成年の場合は次の条件を満たすこと。
  - ① 親権者の承諾を得ている事
  - ② 引率者が付き添う事。引率者は、推薦団体からの指名を受けていること。
  - ③ 引率者は、複数の艇の引率を兼ねる事ができる。

#### 5. 参加申込

所定の申込書に必要事項を記入の上、JSAF オリンピック特別委員会「マネジメント委員会」に申し込み、参加料を指定の口座に、スキッパー一名で振り込む。

- 1) 申込書送信先：E-mail [mam-olytoku@jsaf.or.jp](mailto:mam-olytoku@jsaf.or.jp) FAX 03-3481-0414、  
\*参加者が未成年(18歳未満)の場合、親権者の署名、捺印の上、FAXした上で、原書を郵送願います。  
送付先：〒150-8050 渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館内  
(財)日本セーリング連盟オリンピック特別委員会
- 2) 申込締切日：2009年4月30日
- 3) 2009年アジアユース選考希望の選手は、参加申込用紙に記入の上、Under 17 クラスでエントリーすること。

#### 6. 参加料 10,000円

【振込先】 三菱東京UFJ銀行 渋谷中央支店 (普)1192461  
口座名：(財)日本セーリング連盟

【振込期日】 2009年4月30日

## 7. 大会日程

5月8日(金)

13:00～16:00 大会受付、チャーター艇引き渡し(オーバーエイジクラスのみ)、大会計測  
17:00～ 宿泊先入村式、オリエンテーリング

5月9日(土)

08:30～9:30 大会受付、大会計測  
10:00 開会式、スキッパーズミーティング  
11:25 最初のクラスの第1レース予告信号予定時刻、  
引き続き3レースを予定しているが、最大4レースを実施することがある。

5月10日(日)

09:55 その日の最初のクラスの最初のレースの予告信号予定時刻、  
引き続き2レースを予定しているが、最大4レースを実施することがある。  
16:00 閉会式、表彰式

## 8. 計測

- 8.1 使用する艇は、大会計測を受けなければならない。
- 8.2 大会期間中、陸上や海上でインスペクションを行うことがある。
- 8.3 セイルサイズ 6.8 m<sup>2</sup>についてはメーカー表示 6.8 m<sup>2</sup>以下のすべてのセイルの使用を認める

## 9. 帆走指示書

大会受付時に配布する。

## 10. レースエリア

添付 1図 は、レースエリアの場所を示す。

## 11. コース

帆走するコースは、風上ー風下コース(ソーセージ・コース)を予定している。

## 12. 得点

- 12.1 5レースを予定している。シリーズの成立には、3レースを完了することが必要とされる。
- 12.2 各艇のシリーズ得点は、5レース以上成立した場合には、最も悪い得点を除いた得点の合計とする。
- 12.3 BOYSクラス、GIRLSクラス同時スタートとするが、得点は個別に計算する。

## 13. 安全

会場では、常に適当な救命胴衣(ライフジャケット)を着用しなければならない。ウエットスーツおよびドライ・スーツは、適当な個人浮力体とは見なさない。救命胴衣の浮力装置が膨張式のものであれば、海上では常に膨張させた状態で使用しなければならない。これは RRS 40 を変更している。

## 14. 支援艇

14.1 サポートボートを使用する場合は、サポートボートの登録を大会受付でおこなうこと。

14.2 サポートボートはレスキューボートとみなされ、以下の条件を満たす場合のみ使用を許可する。

- ① 参加申し込み時に申請用紙にてレース委員会に仕様を申請し、許可を受けること。申請、許可なき艇の出艇、および定員の半数を超える乗艇は認められない。

- ② 常時はサポートボートとして航行範囲の制限を守り、レース委員会からレスキューボートとしての要請があれば、いつでもこれに応じること。この要請があった場合のみ制限範囲内への侵入を認める。
- ③ ハーバーに対する搬入手続きおよびハーバー使用料支払いは、個人またはクラブ単位で行うこと。
- ④ サポートボートは、ヨットモーターボート保険(対人対物賠償責任保険及び搭乗者傷害保険)に加入していなければならない。

## 15. 賞

15.1 参加艇数に応じて賞状を授与する。

15.2 本大会で以下の選考を行う。

- 1) テクノ級世界選手権日本代表選手選考  
本大会男女上位より、2009年テクノ級世界選手権日本代表選手として認定する。
- 2) 2009年アジアユース選手権(プレユースオリンピック)代表選手選考  
本大会当該クラス男女1位の選手を7月シンガポールにて開催される2009年アジアユース選手権(プレユースオリンピック)の代表選手に推薦する。(但し、対象年齢は、2009年12月31日現在14歳以上15歳以下とする。)
- 3) その他の大会において選手選考が必要となった場合、本大会の成績を参考として代表選手を決定する場合がある。

## 16. 免責及び保険

16.1 本大会に参加する選手は自己の責任においてレースに参加するものとする。RRS4 参照

16.2 本大会の主催団体等は、本大会の前後及び期間中に発生した人的事故(障害・死亡等)ならびに物的事故(損傷・遭難等)について、その責任を一切負わないものとする。

## 17. その他

本大会はドーピング検査対象大会とする。

## 18. 大会事務局

全日本 THECHNO 選手権大会実行委員会

〒743-0011 山口県光市光井2丁目19-2

山口県スポーツ交流村ヨットハーバー 担当:中村 公俊

TEL:0833-71-5439 FAX:0833-71-5439

URL: <http://www.kouryumura.net> E-mail: [ygsailing@jsaf.or.jp](mailto:ygsailing@jsaf.or.jp)

## 添付 1 図 『レースエリア』

